

授業科目名	野生動物学演習 (Seminar in Wildlife Biology)						
種 類	演習	単位数	1	開講時期	4 年次前期	履修区分	選択
開 設 大 学	北海道大学						
科目責任教員	下鶴 倫人						
その他の教員	坪田 敏男、押田 龍夫、佐鹿 万里子						
キーワード：	保全生態学、野生動物医学、保全医学、生態系、保護管理						
授業概要：	動物の生体機構のしくみを深く理解しながら、自然生態系のバランスを崩さないように環境を健康な形で保全していく知恵や知識を養成することをめざす。野生動物の保護管理の現場では獣医師としての専門知識に加え生態学的な知識が必要とされることから、保全生態学および野生動物医学の知識や技術の修得を目標とする。						
到達目標：	野生動物の生理や生態について総論および各論的な知識を蓄え、生物多様性や自然生態系の成立についての洞察力を養う。さらに、「生物多様性の保全」の現場で、獣医学的技術と知識がどのように役立てられるのか、自ら考え発展させる応用力を身に付けさせる。						
授業計画：	1 野生動物の野外調査入門Ⅰ 2 野生動物の野外調査入門Ⅱ 3 生態調査Ⅰ（痕跡探し） 4 生態調査Ⅱ（ラジオトラッキング） 5 野生動物の麻酔とハンドリングⅠ（麻酔・保定） 6 野生動物の麻酔とハンドリングⅡ（計測・採材） 7 野生動物の解剖と検査Ⅰ（病理解剖） 8 野生動物の解剖と検査Ⅱ（齢査定・栄養状態検査・繁殖状況検査） 9 セミナーⅠ（保全生物学） 10 セミナーⅡ（野生動物保護管理）						
準備学習（予習・復習）等の内容と分量：	講義「保全生態・野生動物医学」を復習する。						
成績評価の基準と方法：	セミナー発表の成績により評価する（出席率 70%未満の者には受験資格を与えない）。60 点未満は不可とする。						
テキスト・教科書：	教科書は指定せず、随時プリントを配布する。PPT やビデオも併用する。						
講義指定図書：	哺乳類の生物学①～⑤（高槻成紀・粕谷俊雄（編）：東京大学出版会，1998，ISBN：4-13-064231-6 他） 生態学入門（日本生態学会（編）：東京化学同人，2004，ISBN：4-8079-0598-8） 保全生態学入門（鷲谷いづみ、矢原徹一：文一総合出版，1996，ISBN：4-8299-3039-X） 野生動物の研究と管理技術（鈴木正嗣（編訳）：文永堂出版，2001，ISBN：4-8300-3185-9） 野生動物の医学（中川志郎（監訳）：文永堂出版，2007，ISBN：978-4-8300-3213-4）						
履修にあたっての留意事項：							
参照 HP：							
研究室 HP：							
備 考：							